

それでも帰る場所を
つくるのが我々の仕事

まつもと ひろし
松本 弘

葛尾村副村長

昭和34年（1959）、葛尾村生まれ。
高校卒業後、葛尾村役場に勤務。震災後2012年より、地域振興課長として
除染による除去土壌仮置場の準備をはじめとした復興事業に取り組む。教育次長、
総務課長を経て、2020年4月より現職。「葛尾創生電力株式会社」の社長も務める。

葛尾は山々に囲まれた、農業の盛んな小さな村。

私はここで生まれ育ちました。原発事故で5年に渡って

帰れない日々が続きましたが、自然豊かな村であることは今も変わりません。

村民が長い年月をかけて作った農地の土を剥ぎ取ることは苦渋の決断。

住民一人一人が苦しい思いを出し合い、除去土壌の仮置場や廃棄物処理施設の
場所を決めていきました。人口1500人足らずの村民は皆知った者同士。

地区で話し合っただけで決めるため、平成24年12月24日に

第1回の仮設焼却施設説明会を行い、平成26年2月まで1年以上を要したんです。

村民も我々も国にとってもあらゆるものが未経験で、ベストな選択をできたかは
分からないまま。それでも帰る場所をつくるのが我々の仕事。

環境省の方々にも地区から出た要望を国に持ち帰って検討してもらう、

という親身な対応を繰り返していただき、一つ一つクリアして帰還困難区域を除く
避難指示解除までこぎつけることができました。再生可能エネルギーを主軸にした
「エココンパクトビレッジ」は、我々が未来のために選択した新しい村づくりです。
こうしてできることを積み上げながら、

住民とともに葛尾村の暮らしを取り戻していきたいと思います。



「葛尾創生電力」はスタートしたばかり。
村の暮らしを支え、産業としても発展を目指す